

エレクトリック・ドリーム

コンピュータが僕の愛するデータを盗んだ!!

B85cm ★ W59cm ★ H87cm ……

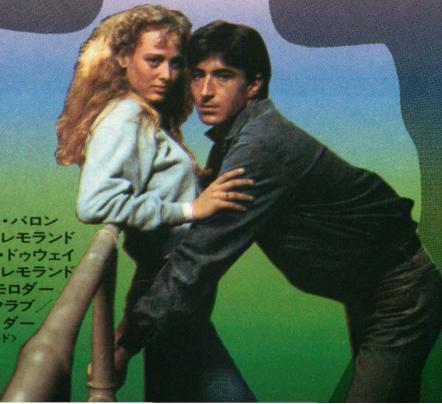
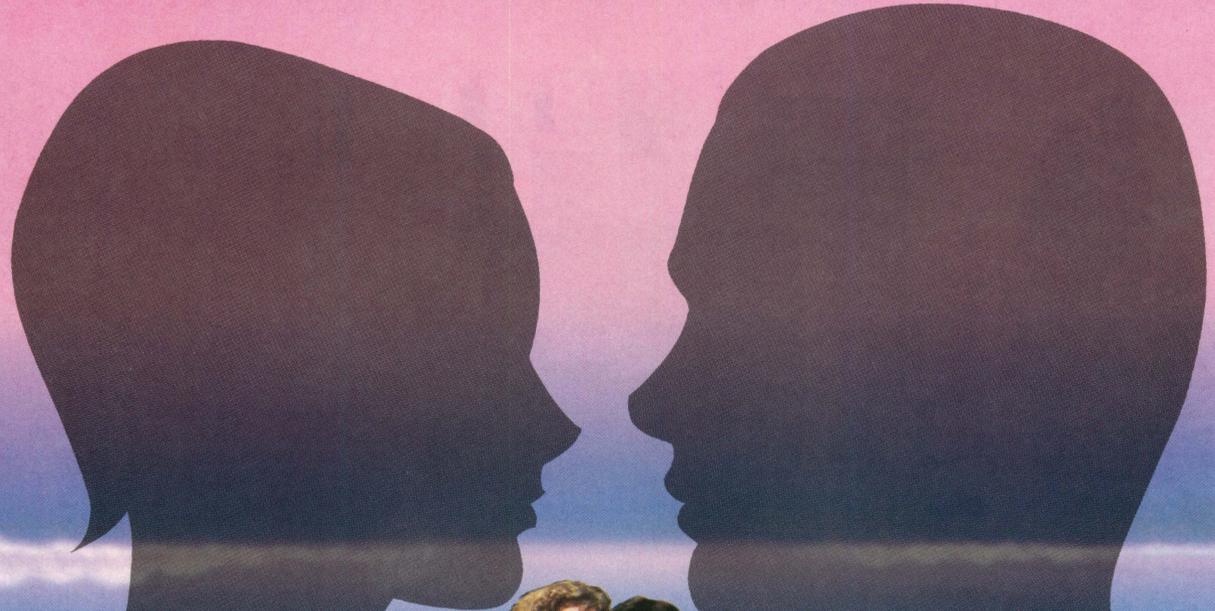
カルチャー・クラブ
ジェフ・リン
ヘブン17
〈フラッシュダンス〉の
ジョルジオ・モロダー
***他

奴の感性はエレクトリック仕込み!



ラブ・イズ・ラブ ♪
恋するビデオ ♪
ザ・ドリーム ♪
やさしく夢みて ♪
マデリンのテーマ ♪
チェイス・ランナー ♪
レット・イット・ラン ♪ etc……

Electric Dreams



監督 スティーブ・バロン
製作 ラスティ・レモランド
ラリー・ドゥウェイ
脚本 ラスティ・レモランド
オリジナル作曲 ジョルジオ・モロダー
オリジナルソング カルチャー・クラブ
ヘブン17 ジェフ・リン ジョルジオ・モロダー
〈サウンドトラック・レコード〉

レニー・バン・ドーレン
バージニア・マドセン
マックスウェル・コールフィールド

エレクトリック Electric Dreams ドリーム

カラー作品
MGM/UA映画
CIC配給

■ 解 説 ■

「コンピュータにまつわるおとぎ話」ともいえるこの「エレクトリック・ドリーム」。ナイーブな主人公マイルスが、大枚をはたいて入手したマイコンの助けを借りて、お隣に住む美女マデレーンのハートを射止めようとしています。マイコンの名前は「エドガー」。ラブ・ソングを作曲させて注意をひきつけようとするのです。「エドガー」の創り出す音楽は、時に甘く優しく、時にハードにマデレーンに迫ります。うまくいくかな、と思ったところがエドガー君、シャープやフラットばかりに飽き足らず、なんとB/W/Hに興味をもってしまう。なにしろエドガーは小さいながらもコンピュータ。あふれるばかりの知識と、豊富なボキヤブラリーの持主。そのうえマイルスは私生活のすべてをエドガーに集中管理させていたものだから仕末におえない。マデレーンとデートの為に外出しようすると、ドアをロックして閉じ込め作戦。レストランでマデレーンと食事して、カードで支払おうとすると残高「ゼロ」。買物をして小切手で支払おうとすると残高「ゼロ」……ヤキモチ焼きのエドガー君、ああ、かつてのシラノ・ド・ベルジュラックは一転してつよいライバルになってしまったのです。

●スタッフ
監督……………ステイブ・パロン
製作……………ラスティ・レモランド
脚本……………ラリー・ドゥウエイ
……………ラスティ・レモランド
……………リチャード・ブランド
製作総指揮……………リチャード・ブランド
オリジナル・スコア……………ジョルジオ・モロダー
撮影……………アレックス・トムソン
美術……………リチャード・マクドナルド
編集……………ビクター・ホーンズ
サウンド編集……………ビクター・ベネル
オリジナルソング……………カルチャークラブ
……………ヘブン17
……………ジョルジオ・モロダー
……………ジェフリン

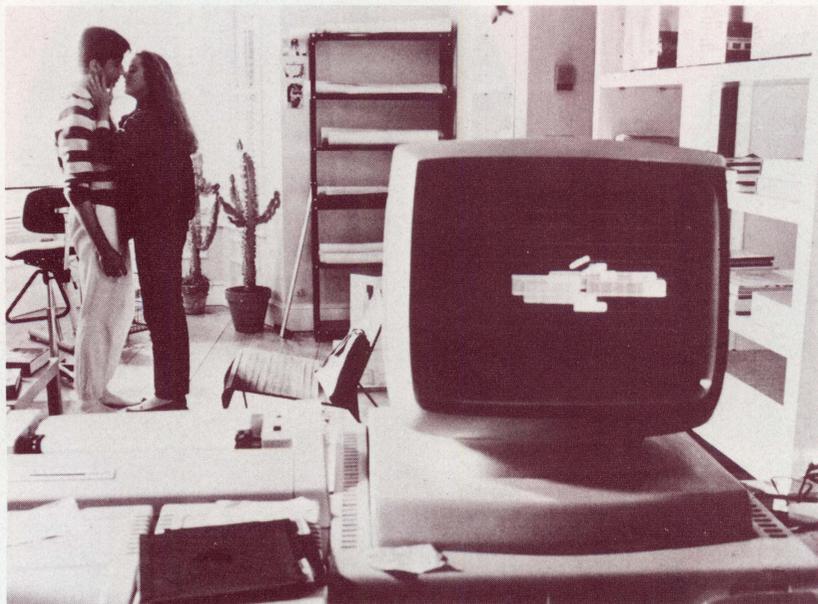
●キャスト
マイルス……………レニー・バン・ドレン
マデレーン……………バジニア・マドセン
ビル……………マックスウェル・コールフィールド
エドガー(声)……………バッド・コート
リリー……………ダン・フェロース
フランク……………アラン・ポロンスキー
コンピュータ・ガール……………ウェンディ・ミラー
指揮者……………ハリー・ラビノウィッツ

エレクトロニクス時代にふさわしい斬新なアイデアに満ちたラブ・ストーリーの登場だ。監督はマイケル・ジャクソンの「ピリー・ジョン」をはじめ、アダム・アントからシーナ・イーストンまで超一流アーティスト達のミュージック・ビデオを百本以上も手がけて、その世界の天才という名をほしいままにしているステイブ・パロン。彼の劇場用映画進出第一弾だ。そしてヴァージン・レコードの社主リチャード・ブランドンに持ち込まれたこの企画は、ステイブ・パロンの仕事振りをよく知っていたブランドンによってヴァージン・ピクチャーズが設立されて、スムーズに映画化のはこびとなった。またこの映画の大いなる話題には、ヴァージン・レコード専属のビッグ・アーティスト、ボーイ・ジョージとカルチャー・クラブ、ヘブン17、また「フラッシュダンス」のジョルジオ・モロダー、ELOのジェフ・リンなど、まさに夢のスターがぞろぞろとこの作品を気に入って、主題曲を書き競っていることだ。「ラブ・イズ・ラブ」「恋するビデオ」などヒット・チャートはエレクトリック・ドリーム一色。

主演は、人間とマイコンの双方からプロポーズされる美女マデレーンに、ラウレンティスの超大作「砂の惑星」の主演に起用されたシンデレラ・ガール、バジニア・マドセ

ン。マイコンと恋のさやあてを演じる純情青年マイルスに、舞台TVで活躍するレニー・バン・ドレン。「グリーンズ2」でセンセーショナルなデビューを飾って日本でもファンのハートをしっかりとつかんだマックスウェル・コールフィールド。製作は「愛のイエンタル」のラスティ・レモランド。彼らはアメリカ映画界の若返りを象徴するように、監督パロンが27才。レモランドが29才、マックスウェル・コールフィールド24才という若さあふれるフレッシュなチームで完成された。

また特殊効果の為にテクノロジーの数々は、ストーリーがSF調のこともあって、そのいずれもが最新開発されたものばかりである。



公開
59.12.15
大劇